

日仏共同プレスリリース(骨子)

1. 共通の価値を通じた連帯

- ・首脳会談を国際会議の機会なども利用して可能な限り毎年開催
- ・安倍総理は、積極的平和主義の立場から、国際社会の平和、安定及び繁栄に寄与していく決意を表明。オランド大統領は日本の決意と取組を歓迎し、支持
- ・国際法に反して、ある国の領域に対して力によって行う取得または権利の主張に反対を表明
- ・クリミアの露への併合は国際体制が基盤とする諸原則に違反
- ・防衛装備協力に関する協定交渉を開始
- ・日EU戦略的パートナーシップ協定(SPA)を締結する意思を再確認
- ・日本の国家安全保障局及び仏の関係部局との間で緊密な対話を継続することを確認
- ・北朝鮮による拉致問題の解決に向けて努力することを再確認
- ・アフリカの成長、開発、平和及び安定に関するアフリカのオーナーシップの重要性について一致。アフリカの取組への両国による不断の後押しを確認。この一環として平和維持分野における人材育成のために協力
- ・海洋安全保障分野、特に海賊対策における協力を強化する意志を表明
- ・サイバーセキュリティに関する対話を立ち上げることを決定

2. 課題を機会に変える: 成長、イノベーション及び雇用のための両国経済の連携

- ・経済・財政担当閣僚間のハイレベル経済対話を促進することで一致
- ・世界中で女性の権利を尊重し促進する重要性を強調
- ・野心的、包括的かつバランスのとれた日EU・EPAを近い将来締結する希望を再確認
- ・第4世代原子炉ASTRID及び高速炉協力に係る取決めの署名を歓迎
- ・国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)において、国際的な合意が採択されるよう積極的に協力していくことを再確認
- ・近い将来に日仏開発協力対話を開催することを確認

3. 未来を築く日仏社会の絆

- ・高等教育機関による学位の相互認証等に関する協定の署名を歓迎
- ・仏は2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を祝福し、この成功に向けて貢献することを希望。また、日本の「Sport for Tomorrow」への協力の意図を表明。
- ・日仏合同で柔道指導者のイスラエル及びパレスチナ自治区へ派遣することを決定
- ・相互の食文化を含めた幅広い文化交流の促進や両国の文化の魅力を世界に向けて発信する努力を継続